

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2007-299578(P2007-299578A)

【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2006-125490(P2006-125490)

【国際特許分類】

H 01 R 31/08 (2006.01)

H 01 R 13/52 (2006.01)

【F I】

H 01 R 31/08 Q

H 01 R 13/52 301 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

保持体の軸方向にピン端子挿入孔を有し、表面に前記ピン端子挿入孔と連通する複数の電線端子挿入孔を設けた保持体と、一端に前記電線端子挿入孔に挿入する受接続端を有し他端に電線を接続した電線端子と、前記ピン端子挿入孔に挿し込むことにより前記受接続端と電気接続した金属製のピン端子と、前記保持体と前記電線端子との組立体を挿入した筒状ケースと、該筒状ケースの入口部と前記組立体の電線間を防水した防水部材とから成ることを特徴とする防水型ジョイントコネクタ。

【請求項2】

前記保持体の表面に沿って前記電線を収容する長溝を有し、該長溝の底部に前記電線端子挿入孔を有することを特徴とする請求項1に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項3】

前記ピン端子は前記筒状ケースの底部に取り付け、前記組立体の前記筒状ケースへの挿入に際し、前記ピン端子挿入孔に前記ピン端子を挿入することを特徴とする請求項1又は2に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項4】

前記ピン端子は前記受接続端に挿通することにより、前記電線端子同士を短絡することを特徴とする請求項1～3の何れか1つの請求項に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項5】

前記防水部材はブチルゴムとし、該ブチルゴムを前記筒状ケースの入口部に充填することにより防水処理を行うことを特徴とする請求項1～4の何れか1つの請求項に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項6】

前記筒状ケースの入口部にライナを嵌入し、前記電線を挿通したキャップを前記筒状ケースに挿着し、前記ライナとキャップとの間に前記ブチルゴムを押し込んだことを特徴とする請求項5に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項7】

前記筒状ケースの入口部に前記ブチルゴムを取り付けたキャップを押し込むことを特徴

とする請求項 5 に記載の防水型ジョイントコネクタ。

【請求項 8】

前記キャップを前記筒状ケースに錠止したことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の防水型ジョイントコネクタ。